

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 022	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 ミカンナガタマムシの防除方法について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 数年前から、樹齢の進んだ樹が秋になると主枝ごと枯れていく現象が多くなっている。原因については、様々な要因があるが、その中で、主枝等に半月形の小さい穴が見られるものも多く、ミカンナガタマムシによる被害が増加していると考えられる。ミカンナガタマムシについて、神奈川県が発生状況に関する情報が少なく、防除適期が不明である。そこで、発生消長の解明と効果的な防除方法の試験を検討していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) II-3(2)ア 診断・同定及び防除技術の開発 (6) ミカンナガタマムシの防除技術の確立		
対応の内容等	本県では、これまでミカンナガタマムシの詳細なデータがないため、令和7年度から上記試験研究課題を設定し、本県における発生消長を明らかにし、防除適期や防除方法等の試験を実施します。また、農薬メーカーや他県でのミカンナガタマムシの発生状況等の情報を収集し、情報提供します。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			